

人民币週間レポート

2026年4月10日発行

みずほ銀行（中国）有限公司
中国為替資金部

MIZUHO 瑞穂銀行

【人民元為替概況】

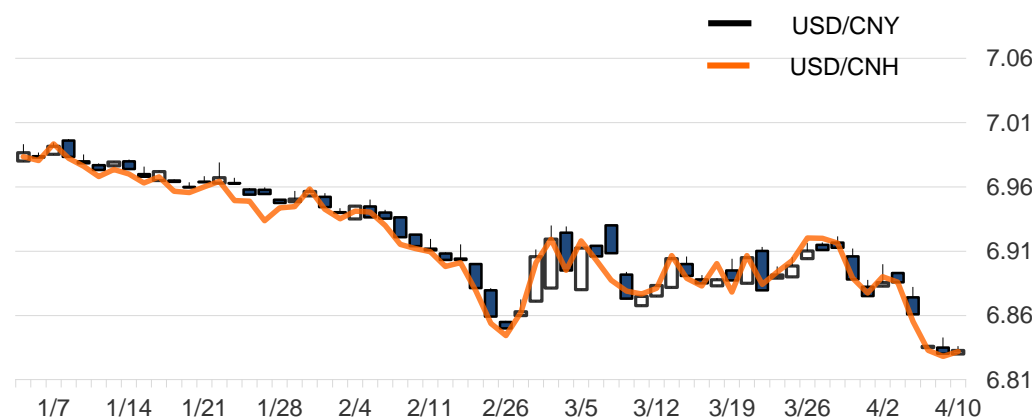
回顧: 米国とイランは2週間の停戦で合意、為替相場は一時ドル安が進行

- ドル人民元(USDCNY)は7日、6.88台でオープン後、下げ幅を拡大する展開。6.85台後半では下げ渋り反転するも、中東情勢を巡り情報が錯綜する中、上値重く推移し6.86台にてクローズ。8日のアジア時間早朝には、米国とイランが2週間の停戦で合意したとの報道を受けて、為替市場全般にドル安が進行。USDCNYも6.83台でギャップダウンしてオープン。停戦合意を受けてリスクセンチメントがやや改善する中、原油安ドル安の流れを受けて約3年ぶり安値水準となる6.82台後半まで下落。その後は様子見ムードから動意に乏しい展開ながらも、小幅に反転する展開となった。9日は6.83台後半でオープン後、小動き。6.84台を回復する場面もみられたが、海外時間にはイスラエルとレバノンが直接交渉を実施することに合意したとの報道を受け、ドル安が進行し6.83付近で引けた。10日も反転の兆しは見られず、11時時点で6.83台にて推移している。
- 円人民元(JPYCNY)は7日、アジア時間は4.31台で方向感に乏しい展開。海外時間にはドル円が一時160円台をつける動きにつれて、円安元高が進行し4.29割れ水準まで下落。8日早朝には、米国とイランの停戦合意報道を受けて、ドル円相場が158円台まで1円強下落。JPYCNYは4.31付近でギャップアップしてオープン後、海外時間には4.32台まで上昇。その後、週後半にかけては徐々に値を切り下げる展開となり、10日の11時時点では、4.29付近にて推移している。

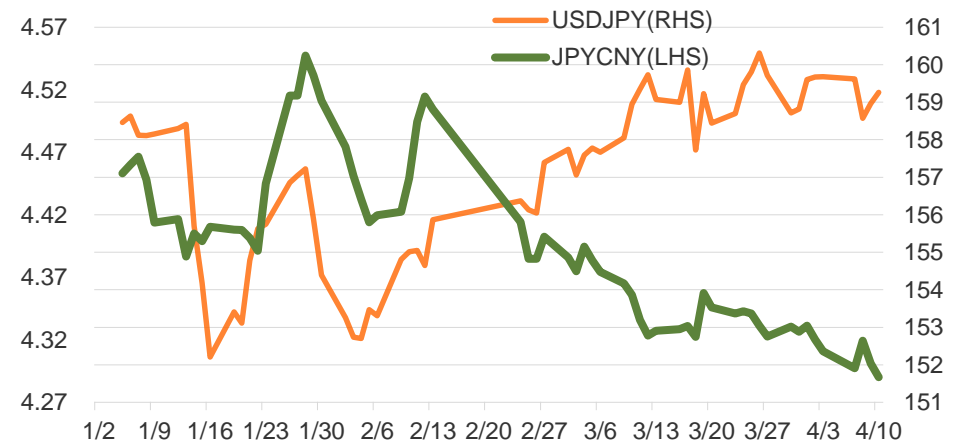
見通し: 米イラン協議の行方次第、引き続きヘッドラインで上下する展開を予想

- USDCNYは足元、約3年ぶりのドル安元高水準にて推移している。週末4/11には米国・イランの直接協議が予定されているが、双方の停戦内容に関する見解には依然として隔たりがある模様。ホルムズ海峡の事実上封鎖も継続しており、事態収束への道筋は依然として遠い可能性が高い。引き続き、中東情勢関連のヘッドラインに振らされる不安定な相場が続くと予想する。
- 米国では本日4/10に米3月CPI、ミシガン大学景況感指数など物価・景況感関連の経済指標が公表予定。想定以上のインフレ加速が示唆される内容となれば、FRBによる利下げ期待の剥落からドル高圧力が掛かりやすくなる可能性があり、留意が必要。

USD/CNY, USD/CNH Spot Rate



JPY/CNY, USD/JPY Spot Rate



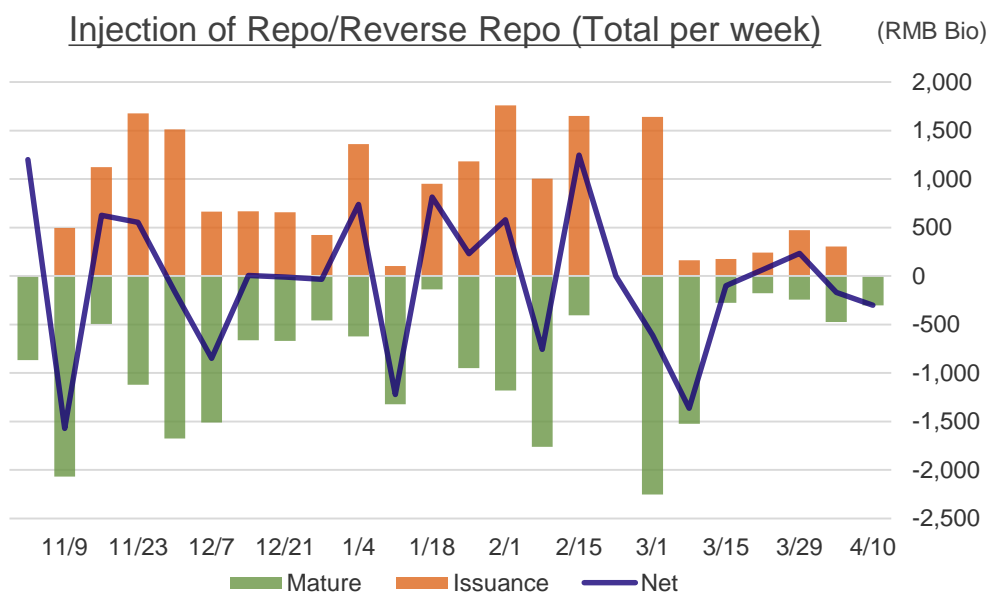
【人民元金利概況】

回顧: PBOC資金供給オペはネット吸収も、資金流動性の潤沢な状況が継続。マネー金利は低下

- PBOCは7日物リバースレポにより、合計35億元の資金供給を実施。満期到来分とネットで3,005億元の資金吸収となった。
- 短期資金市場は、PBOCの資金供給オペがネット資金吸収となるも、流動性は潤沢な状況が継続。O/N金利は1.22%台まで低下。
- 債券市場は、米国とイランの2週間停戦合意を受けてグローバルに株式市場が上昇する中、短期ゾーンを中心に金利が上昇。一方で、中長期ゾーンは概ね横ばい水準での推移となった。2年債利回りは1.33%近辺、5年債利回りは1.55%近辺、10年債利回りは1.81%付近にて推移。

見通し: 停戦合意決裂のリスクは残存。債券市場は底堅く推移すると予想

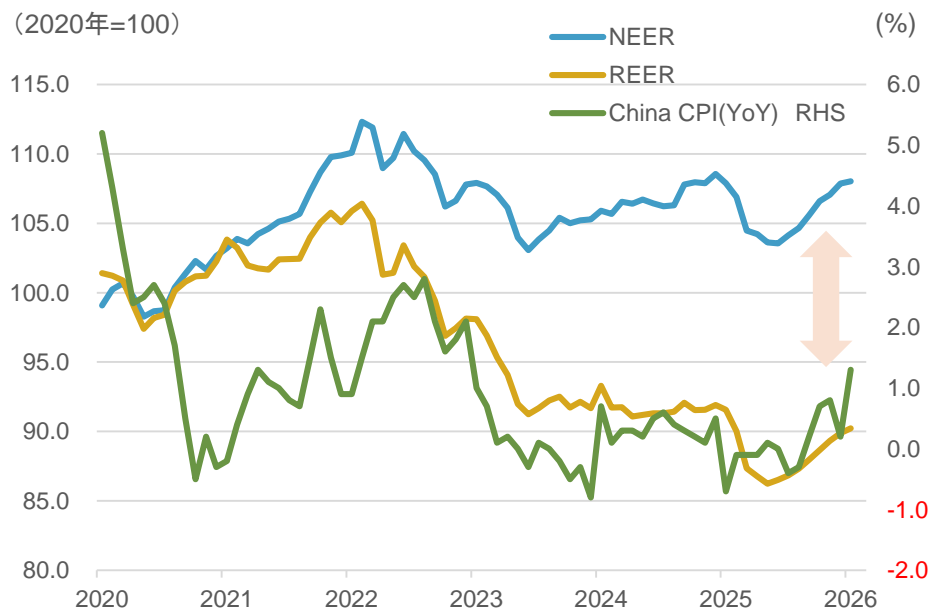
- 今週のPBOC資金供給オペはネット資金吸収となるも、安定した資金流動性は維持された。引き続き、短期マネー金利の低位安定推移を見込む。
- 債券市場については、中東情勢改善への期待が高まる中、株式市場が大幅に反発したことを受けて、金利は上昇圧力がかかりやすい地合いとなった。ただし、米国とイランの停戦合意は2週間の期限付きであり、交渉決裂リスクも残存。株式市場はヘッドライン次第で不安定な展開が想定されるも、潤沢な資金流動性と中国当局による金融緩和姿勢が下支えとなり、債券市場は底堅く推移すると予想する。
- 来週は4/14中国貿易関連統計、4/16にGDP、鉱工業生産、固定資産投資など、複数経済指標公表が予定されており、注目が集まる。



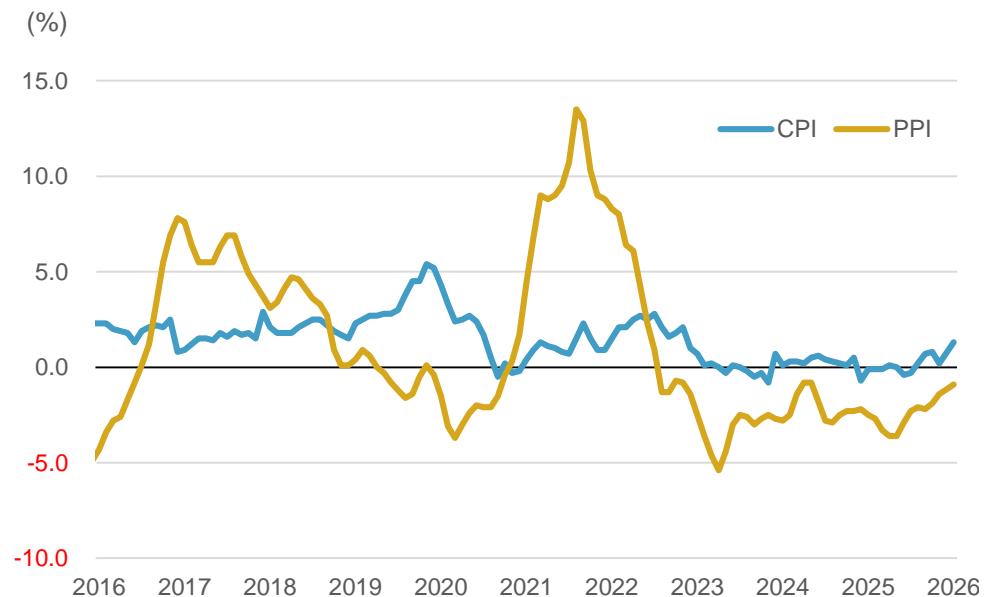
【TOPICS】 人民元の実質実効為替レートと名目実効為替レートの差が拡大

- 人民元の実質実効為替レート(REER)と名目実効為替レート(NEER)の乖離が拡大している。
- REERは、複数の通貨に対する為替レートを貿易量などで加重平均し、インフレ率を考慮して算出される指標であり、通貨の実力を総合的に把握できる。(数値の上昇は通貨高を示す。) NEERはインフレ率を考慮せず、二国間為替レートを単純に加重平均した指標であり、物価水準の違いを調整しない点でREERとは異なる。
- 相対的にインフレ率が高い通貨ほどREERが高くなるため、中国のインフレ率が伸び悩む中、国際決済銀行(BIS)算出のREERは、2022年以降低下基調となっている。一方でNEERはさほど低下しておらず、両者の乖離が拡大している。
- 4/10に中国国家統計局より公表された3月CPI(消費者物価指数)は、前年同月比+1.0%(予想:1.1%、前回:+1.3%)となり、市場予想をやや下回る結果となった。同日公表されたPPI(生産者物価指数)は、前年同月比+0.5%(予想:+0.4%、前回:▲0.9%)と国際市況価格の上昇等を反映し上昇。
- 足元のREERの推移からは中国の輸出競争力が維持されていることが伺えるが、PPIのプラス転など、中国の物価動向にも変化の兆しがあり、今後のREERの動向には注意を払いたい。

人民元の名目実効為替レート・実質実効為替レート



CPI/PPI推移(前年同月比)



【マーケットデータ】

【USDCNY Daily】

DATE	OPEN	HIGH	LOW	CLOSE	PBOC FIXING
4/6	-	-	-	-	-
4/7	6.8741	6.8818	6.8557	6.8597	6.8854
4/8	6.8350	6.8366	6.8220	6.8274	6.8680
4/9	6.8350	6.8425	6.8295	6.8410	6.8649
4/10	6.8300	6.8358	6.8294	6.8333	6.8654

【USDCNH Daily (Reference value from Bloomberg)】

DATE	OPEN	HIGH	LOW	CLOSE	Fixing*
4/6	6.8890	6.8915	6.8723	6.8747	-
4/7	6.8748	6.8837	6.8537	6.8554	-
4/8	6.8554	6.8563	6.8200	6.8330	6.8313
4/9	6.8329	6.8417	6.8245	6.8281	6.8333
4/10	6.8281	6.8344	6.8270	6.8320	6.8310

*CNH (HK) Fixing published at 11:15 A.M. by Hong Kong Treasury Markets Association

【SHIBOR FIXING(%)】

	4/6	LOW	HIGH	4/10
ON	-	1.2220	~	1.2260
1M	-	1.4615	~	1.4720
3M	-	1.4715	~	1.4840
6M	-	1.4830	~	1.4960
1Y	-	1.5050	~	1.5180

【CNY MARKET Weekly】

	OPEN	HIGH	LOW	CLOSE
USD/CNY	6.8741	6.8818	6.8220	6.8333
100JPY/CNY	4.3016	4.3192	4.2884	4.2900
EUR/CNY	7.9256	8.0044	7.9256	7.9854
HKD/CNY	0.87706	0.87813	0.87135	0.87229
GBP/CNY	9.0961	9.1762	9.0922	9.1715

【MAJOR CURRENCY Weekly (Reference value from Bloomberg)】

	OPEN(TKY6:00)	HIGH	LOW	Thursday CLOSE
USD/JPY	159.56	160.03	157.89	158.96
EUR/USD	1.1522	1.1723	1.1505	1.1699
EUR/JPY	183.75	186.23	183.57	185.98
GBP/USD	1.3220	1.3484	1.3179	1.3436
AUD/USD	0.6900	0.7095	0.6876	0.7082

(Bloomberg)

ご留意事項

・本資料に関するご照会先

- 当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。
- 当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。
- ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。
- 投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。
- また、当資料の著作権はみずほ銀行及びみずほ銀行（中国）に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。
- 本資料中の括弧書きで引用された出所元の文または文章の内容に含まれるまたは解釈される可能性のある意見や論評は、括弧書きの末尾に記載の出所元の意見や論評であり、当行の意見や論評を表明するものではありません。

本資料に関するご照会先：

みずほ銀行（中国）有限公司 中国為替資金部 カスタマーチーム
(Tel:86-21-3855-8888 Ex:1320～1329 & 1371～1378)

MIZUHO

瑞穂銀行